

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：京都のエコツーリズム - 森での感動とは何か - ILAS Seminar :Ecotourism in Kyoto - emotions in forests			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 准教授 伊勢 武史		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2016・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 説明会および座学は7月中に吉田キャンパスで行い、9月(予定)のフィールド学習は京都大学芦生研究林で行う。	教室	説明会および座学:農学部総合館N278、フィールド学習:芦生研究林			使用言語	日本語
キーワード	エコツーリズム / 森林 / 生態系サービス / 生態学 / 心理学						
[授業の概要・目的]							
<p>京都の歴史的・文化的繁栄の基盤として、自然環境との共生と持続可能な利用の果たしてきた役割は大きい。京都をとり巻く森林は、木材・燃料・食料の供給源であるとともに、京都に生きる人々の文化的・精神的幸福にも貢献してきた。現在においても、新緑や紅葉など京都の自然の人気は非常に高い。今後の京都のビジョンを描くうえで、市街地や史跡の観光だけではなく、エコツーリズムなど京都をとり巻く自然と人々のかかわりについて具体的に構想することは欠かせない。この授業では、森林が現代人の精神的幸福に貢献するメカニズムを探る。従来の「自然保護ありき」で語られる環境保全ではなく、進化生物学や心理学などの客観的な視点から、人々が森を心地よく思い、愛し、敬う感情とは何か・その感情はいつどこで生じるかを考える。</p> <p>本授業は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」(京都学教育プログラム)における「いきよし」として開講されるものである。</p>							
[到達目標]							
<p>京都を取り巻く自然の価値について、特に文化的生態系サービスについての知識を得、また実際に観光客に人気の森林環境を体験することで、エコツーリズムが果たす役割とは何か、今後の社会にどのような貢献を果たすかを考えることができる。フィールド調査学習では、仮説を立て、調査によって検証し、考察するというプロセスを体得する。その結果として、森で生じる感動とは何かを考え、人にとってそれがどのような意味を持つかを分析する経験を積む。</p>							
[授業計画と内容]							
【前期集中】							
<p>(第1回分) 吉田キャンパスでの講義および実習の説明会を7月中に行う。その後、9月中の連続する3日間のフィールド体験を、京都府北部に位置する京都大学芦生研究林で実施する。</p> <p>フィールド体験は、前半は講義(第2-5回分)、後半はフィールド調査学習(第6-14回分)で構成される。講義では、まず京都の人々と自然のかかわりを歴史的コンテキストと現代の環境問題を通して学ぶ。次に、来訪者が森に抱く感覚を知るため、森林環境への来訪者の調査結果について、また森林の美的価値について芸術家による芦生研究林の体験談と制作物から学ぶ。人間の心理を形づくる要因を知るために進化生物学・進化心理学の基礎も学ぶ。芦生研究林認定ガイドによる講義も行う。</p>							
ILASセミナー：京都のエコツーリズム・森での感動とは何か・(2)へ続く							

フィールド調査学習では、人間の心理にとって自然の持つ役割は何かを、仮説を立て、調査によって検証し、考察するというプロセスを踏む。学生はグループごとに、来訪者にとって自然のもたらす精神的・文化的効果を明示的・定量的に調べ、森に対する気持ちについての普遍性や法則性を探る。指導教員はそれぞれの仮説の設定や研究手法、結果の解析を密接に指導する。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

レポート（2回）と授業内での発表で評価する。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）

伊勢武史『学んでみると生態学はおもしろい』（ベレ出版）ISBN:978-4860643430（本書は、サイエンスとしての生態学の基本的な理論を丁寧に解説し、環境を科学的・客観的にとらえる考え方を身につけられます。これからの時代を生きる人の必修科目である生態学をイチから学びましょう。）

伊勢武史『「地球システム」を科学する』（ベレ出版）ISBN:978-4860643768（地球システム科学とは何か？地球をひとつのシステムと考えるとは、どういうことなのか？システム思考から何が見えてくるのか？物質循環とエネルギーの流れ。お互いに影響を与えあう、地圏、水圏、気圏、生物圏。システムで考えると、地球の過去、現在、そして未来が見えてくる。）

【授業外学習（予習・復習）等】

生態学の基礎知識があるとより高度な理解が得られるので、予習として「学んでみると生態学はおもしろい（伊勢武史著・ベレ出版）」など生態学の入門書を読んでおくことを勧めます。

【その他（オフィスアワー等）】

旅費（交通費・食費を含む）などの受講にかかる費用は学生負担になります。芦生研究林へはJR園部駅からの送迎を予定しています。京都駅から園部駅までの運賃は片道580円です。食費は2泊3日の自炊および弁当購入代金で4千円程度かかります。京都大学芦生研究林の宿泊施設はシーツクリーニング代（450円）で利用することができます。また、学生教育研究災害傷害保険へ加入していることが必要です。実習は9月に予定していますので、成績の報告は9月以降になります。